

2026 年度 札幌学院大学大学院臨床心理学研究科 二期入学試験

専門科目

問題 1

問 1 以下の①～⑩にあてはまる適切な語句を下の選択肢 a から y の中で適切なものを選びなさい。

1. 心理検査の一連の過程には、初めに、(①) の明確化と検査の内容・方法・予想される負担などについてクライアントとの (②) を行い、(③) を経て、結果の (④) とそれを踏まえた支援方針についてクライアントと (⑤) するまでが含まれる。
2. (⑥) は現時点における知能検査・認知機能検査に共通する理論基盤である。
3. (⑦) は米国で (⑧) を担当する医師が精神疾患を短時間で評価できるように開発されたシステム (PRIME-MD) の自己記入式尺度版である。
4. (⑨) は WHO が開発した高齢者の QOL を評価する尺度であり、(⑩)、「威厳」、「過去・現在・未来の活動」、「社会参加」、「死と死にいくこと」、「他者との親密さ」の 6 領域から構成されている。

選択肢

- a: CMI b: 精神科 c: 協議 d: 感覚能力 e: 検査の種類 f: 診断
g: GAI 理論 h: Spearman,C.E の g 因子論 i: CHC 理論 j: 検査施行 k: 共有
l: PHQ m: スクリーニング検査 n: 知能検査 o: 審議 p: 環境 q: 特性論
r: フィードバック s: プライマリ・ケア t: WHO QOL26 u: GAD-7 v: 目的
w: 身体能力 x: 動機 y: WHOQOL-OLD

問2 以下の設問のうち、適切なものに○、適切でないものに×で答えなさい。

1. クライエントに渡す WAIS-IV の報告書には、下位検査のプロフィールを記載することが推奨されている。
2. ベンダー・ゲシュタルト検査は、神経心理学的検査ではあるが、投映法としても補助的に活用できる。
3. 軽度の認知症の進行抑制のためのレカネマブ治療の対象のスクリーニング検査には、MMSE は該当しない。
4. ロールシャッハ・テストの施行方法には様々なものがあるが、共通点は反応時間を測定することである。
5. BDI- II は DSM-IV の診断基準に沿った項目に基づかない独自の項目から構成されている疫学調査用に開発されたものである。

問3 以下の1～3について、100～150字以内で説明しなさい。

1. ASD（自閉スペクトラム症）の補助診断ツールのゴールドスタンダード
2. フリン効果（James R, Flynn, 1984）
3. 近似記憶障害のアセスメントツール

問題 2

問 1 心理療法、心理支援について (1) ~ (15) について記号で答えよ。

(1) 精神分析療法において重視される概念として最も適切なものはどれか。

- A. 自動思考 B. 無意識 C. リフレーミング D. 共時性

(2) 精神分析療法について指摘される特徴として当てはまるものはどれか。

- A. 治療期間が比較的長くなりやすい B. 無意識を扱わない
C. 技法が明確にマニュアル化されている D. 関係性を重視しない

(3) 認知行動療法の基本的な考え方として正しいものはどれか。

- A. 無意識の葛藤を重視する B. 思考・感情・行動の相互作用を重視する
C. 過去の体験を中心に扱う D. 治療者の解釈を最重視する

(4) 認知行動療法の特徴として適切でないものはどれか。

- A. 比較的短期間で実施される B. 技法が構造化されている
C. エビデンスが重視される D. 「無知の姿勢」を重視する

(5) 行動療法における「消去バースト」について正しい説明はどれか。

- A. 消去開始直後に行動が一時的に増加する現象
B. 消去によって即座に行動が消失する現象
C. 新しい行動が突然出現する現象 D. 罰を用いた際に生じる副作用

(6) ナラティブ・セラピーに最も強い影響を与えた理論的背景として適切なものはどれか。

- A. 行動主義 B. 実証主義 C. 社会構成主義 D. 生物学的精神医学

(7) 森田療法の基本的な考え方として正しいものはどれか。

- A. 愛着関係の修復を重視する B. 感情をコントロールすることを目指す
C. あるがままを受け入れて行動する D. 自己を語る新たな物語を紡ぐ

(8) 森田療法における「神経質性」の理解として適切なものはどれか。

- A. 生きることを意味を喪失した状態 B. 死への先駆にとらわれた状態
C. 生の欲望が強い性格特性 D. 良心によって生が抑圧された性格

- (9) 森田療法の特徴として正しいものはどれか。
- A. 感情の変化を直接操作する B. 症状へのとらわれを問題とする
C. 過去の体験分析を重視する D. 認知の修正を中心とする
- (10) 短期療法の特徴として最も適切なものはどれか。
- A. 原因の徹底的分析 B. 問題の解決より理解を重視
C. 限られた回数での介入 D. 無意識の解釈
- (11) 短期療法で重視される視点として正しいものはどれか。
- A. 問題の原因 B. 問題の維持要因 C. 幼少期体験 D. 性格特性
- (12) 短期療法の問題点として適切なものはどれか。
- A. 効果がまったくない B. 深い問題には対応が難しい場合がある
C. 技法が存在しない D. 関係性を無視する
- (13) クライアント中心療法を提唱した人物は誰か。
- A. Freud, S. B. Beck, A. C. Rogers, C. D. Meyers, R.
- (14) クライアント中心療法において重視される治療者の態度として適切でないものはどれか。
- A. 共感的理解 B. 無条件の肯定的関心 C. 自己一致 D. 指示的助言
- (15) クライアント中心療法の基本的立場として正しいものはどれか。
- A. 問題の解決は治療者が行う B. クライアントの自己成長力を信頼する
C. 思考の修正を重視する D. 症状の除去を最優先する

問2 (1)～(5)のテーマから3つ選択し、それぞれ100～200字で説明しなさい。

- (1) 分析心理学(ユング心理学)における「シャドウ」
- (2) 森田療法における「精神交互作用」
- (3) 認知行動療法における「自動思考」
- (4) 精神分析における「転移神経症」
- (5) 短期療法における「ミラクルクエスチョン」

問題3

問1 以下の1と2の文章に対する解答を所定の欄に記入せよ。

1. 心理学研究における概念的定義と操作的定義をそれぞれ簡潔に説明しなさい。
2. 心理学統計における代表値とは何かを簡潔に説明し、代表的なものを1つ挙げなさい。

問2 以下の1~4の各文の空欄に適切な用語を解答欄に記入せよ。

1. インタビューなどで録音・録画された音声データを文字化した資料で、分析に用いられるものを（ ）という。
2. 複数の量的な説明変数を同時に用いて、1つの量的な目的変数を説明または予測する統計的手法を（ ）という。
3. 研究資料やデータ、結果などを研究者に都合のよいものに変更・省略・削除するなどして、研究結果を正しく表現しない不正行為を（ ）という。
4. 調査対象者を一つの場所に集め、同時にその場で調査票を配布・回収する方法を（ ）という。

問3 以下の1~5の各文の説明に該当する用語名を解答欄に記入せよ。

1. 自分が動作をした際だけでなく、他者の動作を観察した際にも活動し、模倣の神経基盤の1つと考えられている神経細胞を何というか。
2. 幼児が不安や恐怖を感じたときに、親など特定の人物に接近・接触し、安心を得ようとする傾向を何というか。
3. 心理学において、主観的な意識ではなく、観察可能で客観的に測定できる行動を研究対象とする立場を何というか。
4. 生体は、それを取り巻く環境や生体内部の変化があっても、一定の状態を保つように調整される機能をもつ。この機能を何というか。
5. Piagetの発達段階理論において、自分だけでなく他者の視点からも物事を客観的に捉えられるようになり、抽象的な思考はまだ難しいが、直接的な対象であれば論理的な思考を行うことが可能になる時期を何というか。

解答・解答例・出題意図

問題 1

問 1 ①v ②k ③j ④r ⑤c ⑥i ⑦l ⑧s ⑨y ⑩d

問 2 1.× 2.○ 3.× 4.× 5.×

問 3 解答例

1. ADOS-2 と ADI-R である。ADOS-2 は、ASD に特有の対人相互作用やコミュニケーション行動を標準化された方法で観察・評価し、5つのモジュールに分類されており幼児から成人までを対象としている。ADI-R は半構造化面接で、養育者に過去の発達や行動を詳しく聞き取ることで、社会性・コミュニケーション・行動特性を包括的に評価するツールである。
2. 1984 年、ジェームズ・R・フリンが発表した人間の流動性知能と結晶化知能の両方のテストスコアの大幅かつ長期にわたる上昇傾向で、平均的な知能得点は世代を追うごとに上昇する現象。結晶性知能より流動性知能において効果が表れる。
3. MMSE、HDS-R は 3 語の記銘というような単純な課題であり、記銘から想起まで 10 分程度と短時間であるため、初期の近似記憶障害の検出は難しい。一方で、COGNISTST、MoCA-J、RBMT、WMS-R は記銘する内容が複雑で記銘から想起までの時間が 15 分から 60 分程度と長いため、近似記憶障害をより詳細に評価することが可能となる。

問題 2

問 1

- (1) B 根拠：精神分析は無意識の葛藤や欲動を中心概念とする。
- (2) A 根拠：精神分析は長期化しやすい点が課題とされる。
- (3) B 根拠：CBT は認知・感情・行動の相互関係に注目する。
- (4) D 根拠：CBT でも治療関係は重要であり、軽視されない。
- (5) A 根拠：消去初期に一時的な行動増加がみられる。
- (6) C 根拠：意味・自己・問題は社会的言語実践の中で構成されるという社会構成主義が基盤。
- (7) C 根拠：森田療法は「あるがまま」「目的本位」を重視。

- (8) C 根拠：森田は神経質性を生の欲望の強さと捉えた。
- (9) B 根拠：「とらわれ」からの離脱が中心テーマ。
- (10) C 根拠：短期療法は期間・回数を限定する。
- (11) B 根拠：問題が「どう維持されているか」を重視。
- (12) B 根拠：短期介入ゆえの限界が指摘される。
- (13) C 根拠：カール・ロジャーズが提唱。
- (14) D 根拠：非指示的態度が原則。
- (15) B 根拠：人間の自己実現傾向への信頼が核心。

問2 解答例

- (1) 個人が自我として認めず、無意識の中に抑圧している側面を指す。社会的に否定されやすい衝動や感情だけでなく、本来の可能性や創造性が含まれることもある。シャドウは否認されるほど他者への投影として現れやすく、対人関係の葛藤を生む。シャドウを排除するのではなく自覚し統合していく過程が、人格の全体性（自己）に近づくために重要である。
- (2) 不安や身体症状に注意を向けるほど感覚が鋭敏化し、症状がさらに強まるという悪循環を指す。不安をなくそう、気にしないようにしようとする心の働き自体が、かえって不安を増幅させると考えられる。森田療法では、この交互作用を断ち切るため、症状を排除せず「あるがまま」に受け入れ、症状の有無に左右されず目的本位の行動を続ける態度を重視する。
- (3) ある出来事に直面した際、ほとんど意識されることなく瞬時に浮かぶ考えやイメージ、言葉のことである。多くは過去の経験や信念に基づき、現実を偏って解釈する傾向がある。抑うつや不安では否定的な自動思考が感情や行動に強く影響するため、CBTではそれに気づき、検討し、より柔軟で現実的な考えへ修正していく。
- (4) 治療の進行に伴い、患者の無意識的葛藤や対人関係の型が分析者との関係に集中的に再現される状態を指す。日常生活で現れていた症状が、愛情・敵意・依存・抵抗といった転移反応として治療場面に現れ、神経症が「治療可能な形」で生き直される。この転移の分析が治療の核心となる。
- (5) もし今夜奇跡が起こり問題が解決していたら、明日は何がどのように違っているかを具体的に尋ねる技法である。クライアントが望む未来像を鮮明に描くことで、問題分析から解決志向へ視点を転換し、小さく実行可能な変化や資源を見出すことを目的とする。

問題 3

問 1

1. 概念的定義：その概念の意味・内容を説明する言葉や文章であると説明できていること
操作的定義：その概念を観察や測定する手続きによって定義するものだと説明できていること
2. 「データの中心的傾向を表す値」であることが分かる説明をしていること（データを「代表」するとはどのような意味なのかが書かれている）
代表値の具体例を1つ正しく挙げていること（平均値・中央値・最頻値のいずれか）

問 2

1. トランスクリプト（逐語録も可）
2. 重回帰分析
3. 改ざん
4. 集合調査（法）

問 3

1. ミラーニューロン
2. アタッチメント（愛着も可）
3. 行動主義
4. ホメオスタシス（恒常性も可）
5. 具体的操作期

出題意図：

心理学研究を実施するうえで基礎となる心理学研究法および心理学統計の基本概念の理解を確認するための問題である（問1・問2）。

臨床心理学を学ぶ大学院生として知っておくことが望ましい、心理学の基礎領域の代表的概念を問う問題である（問3）。

小論文 問題

以下の文章を読み、設問に答えなさい。

本文は、著作権の関係により掲載できません。

出典：川野里子対話集（2025）『短歌って何？と訊いてみた』本阿弥書店

問1 歌人である著者は、下線部(1)と述べています。では、ここで著者が念頭に置いている「文学」とは、どのようなものを想定しているのでしょうか。400字以内で論じなさい。

問2 一般的に「共感」ということは、良い人間関係を築くために大切な心持ちであるとされています。しかし著者は、下線部(2)と指摘しています。共感だけでは批評という言論が育たないことから起こる関係性の問題について、あなたはどのように考えますか。具体例を挙げた上で、400字以内で論じなさい。

評価方法

ループリック評価を実施。評価の観点には、基本的な文章作成力の他、構成力、論理力、表現力、考察力等で構成。

英語 問題

パーソナリティ研究において、人の行動に状況を超えた一貫性(通状況一貫性)があるかどうかをめぐる、「一貫性論争」が巻き起こった。以下の文章は、この論争の端緒を切った研究者の一人である、ウォルター・ミッセル(Walter Mischel)により書かれたものである。文章をよく読んで、設問に解答しなさい。

本文は、著作権の関係により掲載できません。

(Mischel, W. 2003 Challenging the traditional personality psychology paradigm. In R. J. Sternberg(ed.) Psychologists defying the crowd: Stories of those who battled the Establishment and won. Washington, DC: American Psychological Association, pp.139-156.)

問1 パーソナリティ研究における一貫性論争とは、人の行動に状況を超えた一貫性(通状況一貫性)があるかどうか、そしてそれを生み出すパーソナリティ特性が存在するのかをめぐるものであった。この部分に触れられている部分を第一パラグラフから探し、要旨を述べなさい。

問2 下線部 a、下線部 b はどういうことを意味しているのだろうか。あなたが単語の意味を、具体的に把握できていることがわかるように訳しなさい。あるいはどういう意味かを説明してもよい。

問3 下線部 A を訳しなさい。その際、下線部 X の observation が単数形(不可算名詞)であるのに対し、下線部 A の observations が複数形になっていることに留意して訳せるとなおい。なお文中の broad traits とは「状況を超えた一般的なパーソナリティ特性」のことであるが、この通り訳す必要はない。

問4 下線部 B の例を第二パラグラフから探して、それが下線部 B の該当事例であることがわかるように述べなさい。

問5 下線部 C は、「一貫性論争」に対する Mischel などの結論(解答)である。そのことがわかるように、下線部 C を訳しなさい。なお、intraindividually とは「個人の内部で」という意味であるが、この通りに訳す必要はない。

出題意図：

問1 出題意図：内容の大意を掴む能力を見る問題であった。

問2 出題意図：英単語を辞書的な直訳ではなく、文脈に応じて自然に、かつ適切に訳せる能力を見る問題であった。

問3 出題意図：基本的な文法構造が読解できるかを見る問題であった。

問4 出題意図：英文を大まかに、しかし適切に把握する能力を見る問題であった。

問5 出題意図：基本的な文法構造が読解できるか、および論文における考察(結論)部分を、論文の主旨にそって把握できるかを見る問題であった。